

# 2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	009	訓練分野	A.生産管理－製品出荷・在庫管理
コース名	在庫管理システムの導入		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-007-009 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 - ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/6/17（火） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分、無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	初任層・中堅層 ●在庫削減や在庫の適正化の方法を学びたい方 ●在庫管理システムを機能させたい方		
習得する スキル等	●在庫管理業務の意義と役割 ●在庫管理システムを正常に機能させるために在庫管理制度を維持する方法や他の管理システムの計画情報との連動		
ポイント	・「最適在庫」実現に向けて必要となる職務知識を習得していただきます。 ・在庫管理についての基本的な考え方と関連知識を習得していただきます。 ・適正在庫に向けた基本的アプローチと対応事項について学んでいただきます。		
内容	<p>1 在庫管理について</p> <p>(1) 在庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫とは</li> <li>・在庫の必要性</li> <li>・在庫はなぜ発生するのか</li> <li>・在庫目標設定</li> <li>・在庫の考え方と種類</li> <li>・在庫管理とは</li> <li>・在庫区分の考え方</li> </ul> <p>(2) 在庫状況の分析 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫評価指標</li> <li>・回転在庫</li> <li>・T型マトリクス分析</li> <li>・不必要在庫の発生原因事例と対応事例</li> <li>・在庫日数、在庫金額</li> <li>・ABC分析</li> <li>・分析による在庫削減手順</li> </ul> <p>【演習①】在庫回転率、在庫回転期間、在庫日数</p> <p>2 在庫管理システム</p> <p>(1) リードタイムについて 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リードタイムとは</li> <li>・リードタイムの短縮</li> <li>・リードタイムの長いものの扱い方</li> <li>・リードタイムの明確化</li> </ul> <p>【演習②】リードタイム比較</p> <p>(2) 現場における在庫削減</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場・現物からの着手及び制約条件の見直し</li> <li>・5Sの実践</li> <li>・発注方式の見直し</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫量の把握</li> <li>・在庫削減の進め方</li> </ul>	
	<p>(3) 発注管理の考え方 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正在庫の実現</li> <li>・適正在庫と発注管理</li> <li>・安全在庫</li> </ul> <p>【演習③】安全在庫試算</p>			
	<p>(4) 在庫品管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸の目的</li> <li>・棚卸の種類</li> <li>・棚卸を行う上の注意点</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸の方法</li> <li>・棚卸の手順</li> </ul>
	<p>(5) 在庫管理システム 【グループ討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫管理システムの機能</li> <li>・在庫管理システムの維持</li> </ul> <p>【討議】適正在庫実現に向けた具体的取組み</p>			
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社			
定員	15名	受講料	3,300円(税込)	
使用ソフトウェア	ー	実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具、電卓(スマホ)	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		
備考	ー			